

医療情報部

平成4年度 国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議

論 文 集

1993年 1月18日 / 19日

京都

まえがき

早いもので、この国立大学附属病院医療情報部門連絡会議を、前回京都にお迎えしてから早や6年がたちました。本連絡会議も年々成長しつつあり、今年の参加登録者はついに300名を越えるにいたりました。会場収容力が約250名ですので、多少窮屈をおかけするかも知れませんが、多数ご参加下さいます事、心より御礼申し上げます。

ご応募頂きました一般演題総数は55題、これを8つのセッションでご発表頂くことにしました。詳細は次ページ以降のプログラムをご覧頂きたく存じます。

さて今回の特別講演は京都大学経済学部西村周三教授による「これからの病院経営と医療経済」であります。西村教授の独自の視点による医療経済と医療情報のご講演は皆様方に大いにご参考になる事と思えます。またワークショップは大阪大学医療情報部井上通敏教授にお願いして「病院情報システムの標準化」を取り上げて頂きました。これは、最近のコンピュータソフトウェア有料化の趨勢は我々本連絡会議関係者に多大の影響を及ぼしつつあり、標準化の要望が次第に高まりつつあることに因んで企画したものであります。

本連絡会議が回を重ねるにつれ盛大になるのは誠に喜ばしい事ですが、その結果やや形式ばった会議になりつつあるのも事実です。それでも設立当初から貫かれている「同じ仕事仲間の気楽に本音を語り合える場」を確保したいと考えて、今回はラウンドテーブルを設けました。看護部や医事課の方々を対象としましたが、ここにも多数の参加ご希望を頂きました。私達の意図がご理解頂けて喜んでおります。

今回も恒例のごとく見学会を滋賀医大のご協力を得て設けました。これにも定員をはるかに越える参加ご希望を頂き、まさにうれしい悲鳴なのですが、見学頂く場所の広さの点、ご案内する要員の点から、たいへん残念ながらどうしても全員の方々のご希望に応えることができませんでした。誠に不本意ながらご要望にそえなかった皆様方には紙上を借りて深くお詫びいたします。

今回は予期せぬ多数のご参加を頂くことになり望外の喜びを感じておりますが、同時に充分なおもてなしができるのか不安に思っております。あるいはご不便をおかけするかもしれませんが、少ない人数でせいっぱいやっております事に免じてご寛容下さいますようお願い申し上げます。

冬の京都はまた格別な趣がございます。本連絡会議での勉強の後は、ゆっくり京の冬をお楽しみ下さい。

世話人 京都大学医学部附属病院
医療情報部 教授

高 橋 隆

第1日：1月18日（月）

	A会場(210)	B会場(212)	C会場(101)	D会場(102)	委員会等
9:30	受付開始				
10:00	[分科会] 病院情報システム (1)	放射線	看護	検査	
	病院情報システム (2)	教育・研究	物流	薬剤	
12:30	(昼食)				常置委 (107)
14:00	特別講演 「これからの病院経営と医療経済」 西村周三				
15:00	ワークショップ 「病院情報システムの標準化」	ラウンドテーブル 医事事務		ラウンドテーブル 看護	薬剤小委 (215)
17:30			懇親会		

第2日：1月19日（火）

9:00	分科会報告				
10:00	総会				
11:00	(昼食)				ネットワーク 運営委 (107)
14:00	見学 集合場所 滋賀医大病院：JR瀬田駅前 京大病院：京大会館101号室（C会場）				

プログラムのご案内

特別講演 1月18日(月)午後2時より A会場

「これからの病院経営と医療経済」

西村周三(京都大学経済学部教授)

座長:高橋隆(京大病院医療情報部教授)

ワークショップ 1月18日(月)午後3時より A会場

「病院情報システムの標準化」

座長:井上通敏(阪大病院医療情報部教授)

スピーカー:関原成允(東大病院医療情報部教授)

山内一信(名大病院医療情報部教授)

南須原正純(阪大病院医事課長)

永井 肇(NEC情報処理医療システム事業部第1システム部長)

看護ラウンドテーブル 1月18日(月)午後3時より D会場

テーマ:「国立大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)看護部門の有効利用について」

UMINは唯一の国立大学病院の医療情報ネットワークであるが、看護部門においては、まだ十分な利用がされていない。ラウンドテーブルでは、「UMIN活用の現状と今後の利用」についてのアンケート調査による現状分析、「UMINの利用例」等について報告を聞き、今後の開発と活用の方向性について意見交換を行ないたい。

座長:竹内京子(京大病院看護部)

パネラー:「UMIN入門」 桜井恒太郎(東大病院医療情報部)

「看護部門における取組みの現状と今後の開発について」

中原千恵子(京大病院看護部)

「UMIN活用の現状と今後の利用」 -アンケート調査より-

後田 穰(京大病院看護部)

「UMINの利用例」

・デモンストレーション

・意見交換

医事事務ラウンドテーブル 1月18日(月)午後3時より B会場

座長：東山誠一(京大病院医事課医療情報掛長)

テーマ：「健保改正に伴うソフトウェア修正等の対応について」

平成4年4月より、大規模な診療報酬の改訂が行われ、各大学病院でこの対応にせまられたわけですが、メーカー各社より、改定に伴うプログラム修正・改造作業料金を請求された大学があるやに聞いておりますが、実状と今後の対応につきまして議論願いたい。

「電算機の運用・運転について」

オーダーエントリーシステムが普及し、それに伴い、運転時間の延長または24時間運転等により、1)起動・停止、2)バックアップ、3)定期保守、4)日曜・休日・時間外、等の対応に問題点が多くありますが、各大学病院の実情について情報交換等願いたい。

常置委員会 1月18日(月) 12時30分より 107号室

分科会報告 1月19日(火) 午前9時より A会場

座長：山内一信(名大病院医療情報部教授)

報告：病院情報システム(1)	池田 充(名大)
病院情報システム(2)	石川 澄(香川医大)
放射線	工藤俊彦(北大)
教育・研究	高田 彰(筑波大)
看護	池上峰子(神戸大)
物流	宇都由美子(鹿児島大)
検査	熊本一朗(鹿児島大)
薬剤	石本敬三(山口大)
ワークショップ	井上通敏(阪大)

総会 1月19日(火) 午前10時より A会場

座長：里村洋一(千葉大病院医療情報部教授)

1. 常置委員会報告
2. 平成4年度事業報告
3. 平成5年度の予算概要
4. 今後の事業計画
5. その他

分科会プログラム

A (210号室)

病院情報システム(1)

10時00分～11時10分

座長：池田 充 (名古屋大学)
高林 克己 (千葉大学)

- A-1 京大病院におけるオーダーシステム開発の経験
京都大学 遠藤 晃 他
- A-2 三重大医療情報ネットワークシステム
三重大学 津田 光徳 他
- A-3 徳島大学医学部附属病院における「入院基本・給食オーダー」の導入について
徳島大学 大山 玄 他
- A-4 外来処方オーダーエントリーシステム稼働後一年余りが経過して
千葉大学 野口 昇 他
- A-5 オーダリングシステムの導入体制と稼働後の評価
金沢大学 分校 久志 他
- A-6 system-CHIBAにおけるオーダーエントリーの評価
システム稼働後1年のユーザー意識
千葉大学 服部 功太郎 他
- A-7 ホスト・パソコン連携方式による病院情報システムの評価—アンケート調査から—
名古屋大学 池田 充 他

病院情報システム(2)・病名

11時20分～12時30分

座長：石川 澄 (香川医科大学)
山下 芳範 (福井医科大学)

- A-8 福井医科大学における医事システムの現状
福井医科大学 高山 俊一 他
- A-9 福井医科大学総合医療情報システムの開発運用の現状と将来計画
福井医科大学 山下 芳範 他
- A-10 病院情報システムにおけるソフトウェア開発の効率化の検討(I)
—Kagawa-MIND 第III期構築での経験—
香川医科大学 酒井 俊一 他
- A-11 病院情報システムにおけるソフトウェア開発の効率化の検討(II)
—医療データ統合検索システム開発計画過程の評価—
香川医科大学 石川 澄 他
- A-12 ICDコードのfree text探索とその機能を利用した病名登録
—富山医薬大・病院総合情報システムの現況—
富山医科薬科大学 数井 進 他
- A-13 病名入力システム—医師による発生源入力を目ざして
千葉大学 山崎 俊司 他
- A-14 病歴サマリーデータベースを基礎とするデータ後利用システム
滋賀医科大学 永田 啓 他

B (212号室)

放射線

10時00分～11時00分

座長：工藤 俊彦 (北海道大学)
吉原 博幸 (宮崎医科大学)

B-1 放射線治療におけるPACSの応用
京都大学 岡島 馨 他

B-2 群馬大学附属病院情報システム (GUNMAS) におけるPACSおよびレポートシステムの概要
群馬大学 井上 登美夫 他

B-3 北大病院PACSの経験と課題について
北海道大学 工藤 俊彦 他

B-4 放射線オーダーリングシステムの開発について
神戸大学 田中 素由 他

B-5 Character Information in Digital Radiology
筑波大学 楠本 敏博 他

B-6 QuickTime圧縮を用いた医用画像データベースシステムの開発
宮崎医科大学 吉原 博幸 他

教育・研究

11時10分～12時20分

座長：高田 彰 (筑波大学)
大江 和彦 (東京大学)

B-7 宮崎医科大学研究支援ネットワーク (PALMII) の現状と改善すべき点
宮崎医科大学 田下 潤 他

B-8 教育病院としての教育・研究機能の改善
—電子化された学術情報提供のための環境整備—
筑波大学 高田 彰 他

B-9 複数の通信プロトコルによる院内LAN共用と外部接続の経験
東京大学 大江 和彦 他

B-10 病院機能の自己点検・自己評価と機能強化
—筑波大学統合医療情報システムの基本構想と課題—
筑波大学 高田 彰 他

B-11 TREND (筑波大学レジデントデータベースシステム) の現状について
—大学病院における教育機能の自己点検・自己評価の一つとして—
筑波大学 大滝 純司 他

B-12 コンピュータによる新しい医学教育法の開発
千葉大学 高林 克日己 他

B-13 医師・患者への薬剤情報提供のための方法的考察
東京大学 折井 孝男 他

C (101号室)

看護

10時00分～11時20分

座長：池上 峰子 (神戸大学)

佐藤 智恵子 (京都大学)

- C-1 勤務管理システムの現状と超過勤務命令簿作成業務の評価
京都大学 佐藤 智恵子 他
- C-2 勤務時間管理データの後利用について
滋賀医科大学 井下 照代 他
- C-3 看護管理システムについて
東京大学 佐藤 嘉代子 他
- C-4 当院の第II期システムにおける看護部門システムの開発について
富山医科薬科大学 五十嵐 藤子 他
- C-5 鳥取大学医学部附属病院における看護支援システム構想
鳥取大学 山内 康江 他
- C-6 全面オーダリングシステムと連携した看護支援システムの開発
名古屋大学 中條 育子 他
- C-7 滋賀医科大学医学部附属病院における病床管理データを利用した
入院患者台帳システムとその後利用について
滋賀医科大学 川西 良子 他
- C-8 AI機能を使用した看護診断システムの開発について
神戸大学 池上 峰子 他

物流

11時30分～12時30分

座長：宇都 由美子 (鹿児島大学)

中尾 由紀子 (大阪大学)

- C-9 宮崎医科大学附属病院における物流管理システムについて
宮崎医科大学 佐藤 泰範 他
- C-10 三重大学医学部附属病院の中央材料部在庫管理システムについて
三重大学 中島 明子 他
- C-11 材料部における発注点管理システムの問題点
大分医科大学 松原 啓子 他
- C-12 滋賀医科大学医学部附属病院における物流管理システムと病院経営
滋賀医科大学 富岡 昌邦 他
- C-13 バーコードによる特定治療材料トレースシステム
大阪大学 中尾 由紀子 他
- C-14 鹿児島大学における物流システム
鹿児島大学 宇都 由美子 他

D (102号室)

検査

10時00分～11時00分

座長：熊本 一朗 (鹿児島大学)
高坂 唯子 (京都大学)

- D-1 検体ラベルですべての情報伝達を行うR I 検体検査システムの開発
京都大学 小森 恵美子 他
- D-2 京都大学医学部附属病院入院検体検査オーダーリングシステム
京都大学 江見 安一 他
- D-3 検査オーダーリングにおけるOCRからキーボード入力への移行
信州大学 川上 由行 他
- D-4 筑波大学オンライン内視鏡画像ファイルシステム
筑波大学 櫻村 博正 他
- D-5 輸血システムについて
名古屋大学 柴山 修司 他
- D-6 輸血オーダーリングシステムにおける輸血情報の有効利用について
鹿児島大学 熊本 一朗 他

薬剤

11時10分～12時30分

座長：石本 敬三 (山口大学)
古川 裕之 (金沢大学)

- D-7 処方オーダーリングシステムにおける処方作成支援・調剤支援機能
金沢大学 古川 裕之 他
- D-8 山口大学病院における薬品管理システム
山口大学 石本 敬三 他
- D-9 処方オーダにおける薬剤の世代管理システムの開発導入
—富山医薬大・病院総合情報システムの現況—
富山医科薬科大学 石田 達樹 他
- D-10 処方オーダエントリシステムを利用した調剤業務の電算化の現状と評価
香川医科大学 樋口 和子 他
- D-11 院外処方箋オーダーリングの運用について
鹿児島大学 下堂蘭 権洋 他
- D-12 麻薬処方オーダシステム
名古屋大学 林 英一 他
- D-13 注射医薬品の配合情報データ登録システムの開発
島根医科大学 西村 久雄 他
- D-14 注射薬品の定数配置システムの開発
高知医科大学 片山 正彦 他